



第72回

イトーピアボランティア緑会

逗葉新道のそばの丘陵地に造成された住宅地イトーピア。七年前、団地内の斜面でがけ崩れが起き、保水性の高い樹木の少なさが問題になりました。

それをきっかけに、「緑地を整備して、樹木や花でいっぱいになろう」と、住民有志が結集しました。こうして誕生したのがイトーピアボランティア緑会です。

定例の活動日は、月・水・金曜日の週三回。男女十八人の会員が、団地のあちこちに点在する緑地や斜面を順番に回り、一面に生い茂った雑草刈りに汗を流しますが、とにかく面積が広いために毎回、大変な重労働です。「こちを刈れば、あっちで草が伸びる。雑草とのイタチごっこですよ」と会長の福田滋さんも苦笑いです。

雑草を除去した後の緑地や斜面には、かながわみどり財団から提供してもらった樹木の苗木を植え、またパンジーやマリーゴールド、水仙など会員

が好みの花の種をまいたりします。梅雨入りを前にした先月初めには、緑地内に植樹した梅の木がたわわに実をつけ、会員たちが梅の摘み取りを楽しみました。「これで梅酒や梅ジュースを作ると、とてもおいしいんです」と会員の田中英一さん。

今、緑会が取り組んでいる一番の大仕事は、団地の一面にある広大な斜面緑地の整備です。ママシやスズメバチに注意しながら、背丈ほどの雑草を刈り、篠竹の密林を切り払い、山桜やタブなどさまざまな樹木を植えてきました。「作業はきついけど、緑に癒されるので、全然苦になりません。会員皆で力を合わせ、いつの日にか、きつとここを『緑の楽園』に」(福田会長)と、夢もふくらんでいます。



葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子選

◎特選 *共選

◎紫陽花のひかりを窓に零しつつ登山電車は掬われてゆく
(評) ゆっくりと登るレトロな単線登山電車。窓に触れんばかりの花のトンネルへ、車ごと吸われて行くような美しい不思議な感覚を詠まれた歌です。

つみかさねし努力の重さ計れねど胸に輝く友の褒章
暑き日の照りきはまりてこの昼を動く風なく昼顔の咲く
空よりも濃き水色の海走る少し気取りし白き船の帆
予期せざるトビとの出合いま昼間の磯に開けたる弁当奪はる
少女期の憧れえぞの君影草さ庭に咲き満つ ブーケ作らむ
夫の遺影の痴呆の陰も老いもなく律気に生きし面影のまま
孫よりのバースデイカードを待たらしき夫は何度もポストを覗く
デイサービスへ坂登りつつ木々たちと歌へり「なんだ坂、こんな坂」
ドット忘れメールただちにドット返信警報音を怖れぬ度胸

鈴木 榮子
柳沢 千雪
近藤 紘
山岸由美子
中川 弘子
渡辺 裕子
石川サヨ子
岩渕寿々子
山本 ふで
米田 宮子

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎*つじに照るまぶしき中の町役場 熊谷 晃門
(評) 葉山の町花はつじである。晩春から初夏にかけて花の木公園のつじは、赤・白・紫などの多種が咲き揃い目がさめるほどの美しさである。役場の周辺はつじを観賞する人々で急に賑やかになって来る。この句は、その観光俳句にふさわしい作品である。

◎*家具の位置変へて風呼ぶ夏座敷 近藤 紘
(評) 家具のある場所を変えて、部屋の模様替えを行ったのだが、これも夏に対するひとつの銷夏法であるかもしれない。そのことよって、風の通りもよくなったのだろう。ともあれ気持の入れようにより、涼しさが感じられる句です。

*家具の位置変へて風呼ぶ夏座敷 近藤 紘
(評) 暑い夏を涼しく過すために、家具の向きを変えたり調度類を涼しげなものにとりかえたり、更にまた風を入れて一層の涼しさを誘うのである。

*朴咲くや山のあなたに雲生まる 石川 光子
美容師の手際の良さや夏ははじめ 矢嶋弥寿子
ひとすじに生き永らへて草若葉 新井かね子
薔薇挿せば鏡明るき洗面所 熊本 京子
*小判草さてこのままにしておけず 伊藤 青嵐

*朴咲くや山のあなたに雲生まる 石川 光子
*小判草さてこのままにしておかず 伊藤 青嵐
シーボルト紫陽花の花愛したり 新井かね子

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

語る町長と

トーク広場

第40回

事故を防ぎ、葉山の海を楽しもう！ 町ぐるみで『安全キャンペーン』 ～うき・ウキーはやま推進協議会～

が、そもそも町と国が手を結んで始めたこの事業は、全国でも初めての試みだそうですね。

竹村 そうなんです。うき・ウキーはやまは、もともと海上保安庁がマリinjレジャーの普及による海難死亡事故の増加に頭を痛めており、海での事故防止や行方不明者の減少を目的として、ライフジャケットの着用等、自分の命は自分で守る「自己救命策確保」の手段を掲げたキャンペーンを全国的に展開したのがきっかけです。事業の展開に伴い、横須賀海上保安部が、マリinjレジャーの有名な葉山を国内初の「モデルタウン」とし、町ぐるみで海難事故の減少と自己救命策確保の取り組みを進めることを提案してきました。

そして、昨年三月にヨット協会や貸ボート組合など二一団体で、事業の母体となる「うき・ウキーはやま推進協議会」を発足させました。

町長 具体的にはどのような活動をしているのですか。

竹村 「自分の命は自分で守ろう」ということで、①ライフジャケットの常時着用②万一の際の連絡手段の確保（防水パックに入れた携帯電話の携行など）③「もしもの時の一一八番」の周知徹底。以上の三つを柱とした、自己救命策確保のためのキャンペーンを展開しています。

町長 どれも大切なことばかりですね。一一八番というのは、確か海難事

故などの際に救助を求める海上保安庁への直通電話でしたよね。

竹村 はい。『海の一一〇番』です。

町長 自己救命のための講習会や海上・沿岸のパトロールなどもなさっていますか、成果の方はどうですか。

竹村 だいぶ上がっています。特にライフジャケットの着用率が高くなりました。海上パトロールに出ても、今は釣り人もマリinjレジャーの若者も、大半が着用しています。また、未着用の方に注意すると、以前は「うるさい。余計なお世話」と反発が強かったのに、最近は素直に従ってくれます。

町長 きつと皆さんの地道なキャンペーンのお陰で、自己救命の大切さが理解されてきたんですよ。とてもいいことだと思います。

竹村 ちなみに、ライフジャケットを着けているといえないでは、海に転落した時の救命率が全然違うんです。着用

者の生存率は八三%ですが、未着用だと反対に死亡率が八二%です。

町長 文字通りライフジャケットが生死を分けるわけですね。これは絶対に着用しないといけませんね。

竹村 それと海での事故を防ぎ、楽しく遊ぶためには、ルールやマナーを守ることが大切です。例えば、漁業権のある海域で勝手に魚介類を採ってはいけませんし、水上オートバイによる暴走などは、もつてのほかの危険行為です。そのため、海のルールブックを配布したり、海上パトロールなどでルールやマナーの徹底を図っています。

町長 ほかに葉山の美しい海を守るために、クリーンキャンペーンも展開しているそうですね。

竹村 安全と同時に、葉山の海で楽しく遊んでいただくためには、美しい環境を保全することも大切です。そこで、残った釣り餌やごみの持ち帰りを徹底してお願いしています。

町長 葉山の海を中心にした素晴らしい環境は、町民はもとより観光等で訪れる皆さんの共有財産です。これを汚してはいけませんよね。

それにしても、葉山が自己救命策確保の推進モデルタウンになったことは光栄です。うき・ウキーはやまの輪が広がり、町ぐるみの先進的な取り組みが全国に発信できれば、なお素晴らしい。海の安全と美しい環境を守るために、これからも共に頑張っていきたいと思います。

大勢の海水浴客やマリinjレジャーの若者たちでにぎわう葉山の海。せっかくの海での遊びを、無事故で気持ちよく楽しんでもらおうと、町では国と連携して、「青く美しい安全な海 葉山」の発展を目的とした、「うき・ウキーはやま推進協議会」を設立し、町をあげて自己救命策確保の推進など、海での安全を守る活動に取り組んでいます。

そこで、推進協議会の竹村幸一会長に、『うき・ウキーはやま推進事業』について伺いました。

町長 夏も本番、海の季節がやって来ましたが、うき・ウキーはやま推進協議会の皆さんも忙しくなると思います

第3回子育てフェスティバル



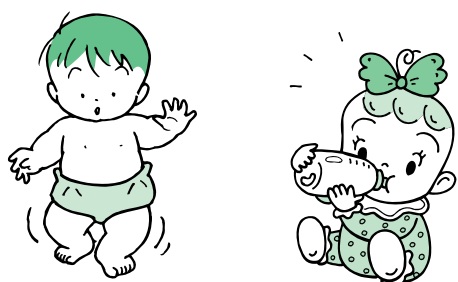
6月15日に福祉文化会館ホールロビーで行われました。人形劇を見たり、プレイコーナー、お買い物ごっこで楽しく遊んでいました。(参加者は約130人)



競技に夢中



今年で第26回目迎えた葉山町心身障害児者運動会が6月10日に葉山小学校体育館で開催されました。鈴割り、玉入れ、スプーンレースリレー、パン食い競争などに汗を流し競技に夢中になっていました。



◆定例ボランティア活動

7月8日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ 〇〇875-6734 大熊(町ボランティア連絡協議会)

◆野村証券 資産運用講座

7月12日(水)13時30分～16時30分 福祉文化会館 大会議室 テーマ 貯蓄から投資へ情報の取り方、活かし方、四季報、チャートなど 講師 篠原秀一さん(野村証券 投資情報部) 〇〇827-0601 〇〇827-0969 田辺(野村証券) (<http://www.nomura.co.jp>)

◆①「輝く トンボの世界へ」辻 功写真展、②教育会館ふれあいコンサート「心おどるジャズを楽しむ」

①7月17日(月祝)～25日(火)10時～18時(17日(月祝)は13時から、25日(火)は15時30分まで) ②7月23日(日)14時から 大人(前売り)1,100円(当日)1,200円 高校生以下500円 鈴木美佳子(ヴォーカル)、本郷修史(ピアノ)、土田さとし(サクソ)、河口洋平(ベース)、中村誠(ドラムス)、野口真伍(ギター) 横須賀三浦教育会館(京浜急行県立大学駅下車徒歩10分) 〇〇824-0683 財団法人横須賀三浦教育会館

◆葉山マリンキッズ・親子海の教室

7月22日(土)、23日(日)9時30分～15時

対象 未就学児と保護者 一色海岸で磯の生きものの観察と海の安全教室 〇〇876-2287 NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター

◆早期教育相談会

7月27日(木)9時～15時 筑波大学附属久里浜養護学校 発達の遅れや障害のある児童(0歳～就学前)の家族や所属園からの相談受付 7月10日(月)締切 〇〇848-3444 筑波大学附属久里浜養護学校

◆湘南国際村青少年国際セミナー「世界の入口に立とう」

8月20日(日)～22日(火)2泊3日 湘南国際村センター 対象 県内在住の高校生など40人 15,000円(宿泊・食費等込み) グループワークや講義を通じて国際人としての第一歩を踏みだす宿泊型セミナー 7月31日(月)締切 〇〇855-1822 かながわ学術研究交流財団 (<http://k-face.org/>)

◆ゴミ減量推進リサイクル 不用品引き取ります

不要の衣類・雑貨・本などの引き取り(無料) 必要としている人やチャリティー団体に渡します 〇〇878-7900 木内(ゴミ減量推進国民の会)

◆YFU50期交換留学高校生募集

世界各国のYFUが選定するボランティア家庭にホームスティしながら、地元の公立高校に1年間通学し、ホストファミリー・友達とともに異文化生活体験をしてみませんか 〇〇878-8686 亀井(YFU国際交流財団)

◆平成19年歌会始のお題

平成19年歌会始のお題は「月」 封書に〒100-8111 宮内庁「詠進歌」と書いて、9月30日(土)締切(消印有効) 宮内庁ホームページ (<http://www.kunaicho.go.jp/12/d12-08.html>) にも掲載 疑問がある場合は、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号・住所・氏名・を書き、返信用切手を貼った封筒を添えて、9月20日(水)までに 〇〇郵送のみ「〒100-8111 宮内庁」

でんごんぼんの掲載原稿をインターネットから申込みできます。

「でんごんぼん」の原稿がインターネットを使って自宅や職場からいつでも申込みできます。

申込み

<http://www.e-kanagawa.lg.jp>
町ホームページからは「電子申請・届出」から入り



マークをクリックしてお入りください。
◆操作方法などが分からないときなどは、コールセンターをご利用ください。
〇〇0570-05-7500
*利用時間 8時30分～17時30分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

問合せ 企画課 〇〇内線333

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課(〇〇内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。